

## ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」の動画から ～「EXODUS」、民族舞踊ワークショップ、弦楽四重奏～

小川 真生、中宮 典子、田口 綾子



「シロンスク」合唱舞踊団から「EXODUS」とフォークダンス振付けレッスン(ワークショップ)のDVD、そして弦楽四重奏オンラインコンサートの配信を受け取り、繰り返し視聴する機会に恵まれました。

### 弦楽四重奏

弦楽四重奏コンサート\*は、ヴォイチェフ・キラルの「ある貴婦人の肖像」から始まり、映画音楽が暖かく柔らかな音色で流れていきます。中ほどで、エンニオ・モリコーネのサウンドトラック「ニューシネマパラダイス」の中で子息アンドレア作曲の「愛のテーマ」が流れて来ました。

この曲を初めて聴いたのは、リトアニア出身のアーコーディオン奏者、マルティナス・レヴィキスのアルバムによってでした。当時親族をあいっいで亡くし、枯れ果てていた心に「愛のテーマ」のメロディーが沁み込んできて、泣けました。その後「ニューシネマパラダイス」を探して映画を観たのです。

弦楽四重奏の「愛のテーマ」を聴き、主人公のトト(サルバトーレ)とエレナのツーショットが甦りました。



映画音楽の巨匠の方々曲はみな素敵で、ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバスの演奏も美しく、素晴らしい音色にひたることができました。「愛のテーマ」もさらに忘れられない曲となりました。

### 「EXODUS」

「EXODUS」\*は斬新で幻想的でした。

落雷の音、流れ落ちる砂、風の音、嵐、水の音、鼓動、それらと一体化したヴォイチェフ・キラルの音楽が流れ、そしてダンサーの美しい表情や動きに圧倒され、モノクロのダンスパフォーマンスは心の奥深くにストレートに入り込んで来ました。

強い意志、他者へのいたわり、大集団の中の自律、孤独な旅、まるで人生のようです。ハレルヤと讃えられたこの旅に、美しく強い生命力を感じました。言葉では表現しきれませんが、何物にも屈しない、力強い生命力！その波動に共鳴しました。

### 振付けレッスン

振付けレッスン動画\*は豪華な内容で、ワークショップも例会もできない昨今ですが、ワークショップに参加できる日がとてもとても待ち遠しくなりました。

ともすれば塞ぎ込んでしまいそうな自粛の時期、DVDと動画配信に感謝いたします。

(おがわ・まき、札幌フォークダンスクラブ、本会会員)

### ワークショップ(WS)動画

「シロンスク」舞踊団からDVDが届いた。34ページの写真入り説明書付き。昨年11月に開催された動画鑑賞会「EXODUS」と民族舞踊WSの全てが収録されている。

重厚な黒の装丁の表紙を開けると目に飛び込んできたのは、総勢69人が楽しげにポーズを取ったカラフルで完璧過ぎる写真である。後方はおそらく合唱団で16人の男性が羽に長いリボンのついたもの、20人の女性がカラフルなハンカチを男女揃って高く持ち上げ、手前には男女各16人の

ダンサーが緩いVの字に配置し、シンメトリーになるように片手を上げている。手の向きは列によって様々だが、指の先まで表情がある。

白いレースのエプロン、クリスマスカラーの赤とグリーンをうまく使った衣装を黒のベストが引き締める。そしてそれには緻密な刺繍が。男性ダンサーだって負けてはいない。赤と白の細い縦縞のズボンが心憎いし、長めのチョッキ





にはびっしりと刺繍が。この静止画だけで釘付けなのに、動き出したらどこに視線を置けばいいのだろう。

次ページ、中央の男性が両脇に抱えた女性にkissの動作。

日本人にはできるだろうか...

女性の頭にはこぼれ落ちそうなほどのリボンと玉の髪飾り。4連の朱色大粒ネックレス。わあ、すてき。一枚毎に立ち止まる。

WSのDVDは35分くらいで、伝統に深く根付いたポーランドのナショナルダンスのうちポロネーズとクラコヴィアック、そしてシロンスク地方特有の踊りであるトロヤック(女性2人男性1人の3人1組で踊る)各々の踊り方のレッスン動画である。基本のステップやホールドの仕方、色々な手の位置とそ

の動き、数種類もある基本の動作、挨拶の仕方などの説明と、最後にそれらを組み合わせただけのもので1曲踊る構成だった。

習ったつもりでも細かな部分など曖昧で、何度も見て目に焼き付けることができるのが記録媒体の利点である。手先や足先の動き、背筋を伸ばし気品を保った姿勢で常に相手に向けている眼差しと微笑みなど、言葉だけではわからないものが映像では伝えられて大変参考になった。

実際の公演ではここまで細かなことは見えないし、瞬時のことは忘れてしまう。DVDを手元で繰り返し見られるのは実に貴重である。男女二人の間には暖かいものが流れ、見る側の心も和ませてくれた。

製作し贈って下さった方々に感謝いたします。(なかみや・のりこ、フォークダンスグループ「たんぼぼ」)

### 「シロンスク」からの贈りもの



今年4月「シロンスク」舞踊団から本協会に贈られたDVDを、希望者に先着順でいただけるチャンスがあり、私は「ポーランド民族舞踊ワークショップ(振り付けレッスン)録画」は、ピアノを

習っている生徒さんなどにも活用できるかもしれないと思い、その贈呈を希望しました。昨年11月21日の『エクソドゥス』動画鑑賞会には参加できなかったのですが、同じ内容の動画を扱いやすいDVDでみることができありがたいです。またきれいな写真や解説のついた立派な贈りものでたいへん感謝しております。

### 「エクソドゥス」

その中で、先ず「エクソドゥス」を、解説をみない状態で観たのですが、とても印象的でした。ダンサーの動きやシーンがコマ送りのような感じで変化していく様に、これは何を意味しているのだろうか?と想像をかき立てられました。そこからはいろいろな感情のようなものが伝わり、身近なところでは、子供のころ体育の授業であった創作ダンスを



連想したりもしました。DVDをお貸したピアノ学習者も同じように感じたようです。

そして音楽に関

しては、ダンサーの動きと音楽がひとつのものとして感じられました。解説によると、ポーランド人ピアニスト兼作曲家ヴォイチェフ・キラルの音楽によっているそうです。

またDVDの解説や同時に送付された会誌「ポーレ」103号を拝読し、100年以上前にポーランド孤児が救出され敦賀港と大阪港から上陸して手厚い看護を受けたという出来事などから、このたび最初の動画鑑賞会が「人道の港敦賀ミュージウム」で行われたことを知り、心に迫るものを感じます。

### 振り付けレッスン動画

ピアノ学習者にとって、ポロネーズやマズルカなどポーランドの

音楽には、民族舞踊を学ぶことが必要です。「ポーランド民族舞踊ワークショップ(振り付けレッスン)録画」は日本語音声の解説で



とてもわかりやすく感じました。

2枚のDVDがセットになっていて、DVDをお貸したピアノ学習者も2枚ともみたそうで、言葉に尽くせない何かを深く感じ取ったようです。

またこの感想文を書く機会に過去のポーレを読み返してみました。きちんと読んでいなかったのか、知らなかったことも発見して、思いがけず学びの機会を得た心地です。どうもありがとうございます。

(たぐち・あやこ、ピアニスト、札幌大谷大学短期大学部非常勤講師、本会会員)